



壬生町政がま

住民登録人口

昭和43年10月1日現在		対前月比
総人口	24,816人	12人増
男	12,263人	6人少
女	12,553人	6人少
世帯数	5,392世帯	5世帯増

発行所 栃木県壬生町役場

(毎月4日発行)

日本郵便法第33条第3項郵便物認可

一部 6円



スポーツの秋

11月の納税
お忘れなく
国保税 第5期
国民年金
10.11.12月分

赤勝て 白勝て
今日は楽しい運動会だ
いよいよ わたしたちのかけつこだ
わたしが一着で たくさんごほうび
もらおう
さあ スタートだ

管内の小中学校は、9月末からそれぞれ運動会が行なわれました。今年は秋晴れの少ない悪天候が続き、また気温も低かった。それでも、生徒たちは元気いっぱい走っていた。

町営で土地改良事業に踏切る

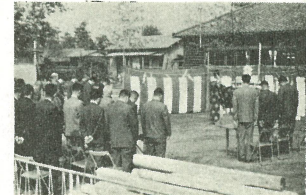
九月の定例町議会

壬生町議会の九月定例会は、九月二十五日午前十時、役場議場で開かれました。

今回の議案は、議会員の公務災害補償組合の設置と六議案が可決されました。

可決されたものは次のとおり

- ◆栃木県町村議会議員公務災害補償組合の設置について
- ◆昨年十二月に「議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償に関する条例」が制定されており、それに伴い、栃木県町村議会議員公務災害補償組合という名称で設置されることになりました。
- ◆この組合は、栃木県町村議会議員に対する公務災害補償に関する事務を共同で処理し、町村議会議員に対する福祉制度を統一整備することにより、町村財政の安定と健全をはかり運営することを目指すとして設置されたものです。
- ◆壬生町営土地改良事業負担金徴収条例の制定について
- ◆従来、土地改良事業は、国や県から補助金を受けて事業を行ってきたが、今度、町営事業として条例を制定し発注することになりました。
- ◆団体営事業として採択されたた



壬生小の起工式

壬生小の校舎増築はじまる

町立壬生小学校の校舎増築工事の起工式が十月十六日午前七時から壬生小で行われました。

この増築工事は、校舎の老朽化のため、平家田校舎のかわりに新しく鉄筋コンクリート二階建てのつばな校舎を前側の校舎に増築することになりました。

この新校舎は、面積六、四平方メートルで普通教室六つができます。

設計者 市坂建設設計事務所
 総工費は、一千八百万円で、完成は昭和四十四年三月十日の予定です。

～共同募金～
 10月～12月
 恵まれない人に
 暖かい愛の手を

壬生町の文化祭

- 第十八回の壬生町文化祭は次の日程により開催します。ふるってご観覧ください。
- ◆主催 壬生町
 - ◆場所 壬生町中央公民館
 - ◆行事および日程
 - 菊花の部 十一月一日～十日
 - 書道絵画の部 十一月九日～十日
 - 音楽の部 十一月十七日
 - 文芸の部 十一月十七日
 - 展示 十一月十七日
 - 盆鼓の部 十一月十九日
 - 盆鼓の部 十一月十九日
 - 写真の部 十一月十六日～十七日
 - 展示の部 十一月十七日
 - 茶花道の部 十一月十七日
 - 花道 十一月十六日～十七日
 - 茶道 十一月二十日

酒のみ、無免許運転を追放

— この運動を忘れずに —

秋の交通安全運動おわる

秋の交通安全運動は、十月十一日から二十日まで全国一斉に実施されました。

町では、交通安全協会、警察署、PTA、婦人会、役場の人も協力的にと町民総ぐるみ運動を展開し、次のような目標で実施しました。

- 一、飲酒運転の追放
- 二、正しい歩行の励行と正しい自転車車の乗り方
- 三、こどもと老人、身体障害者の安全の確保
- 四、無免許運転の追放

この四点を重要目標として、広報車による巡回指導を毎朝七時から実施しました。

その努力の結果、効果は非常に大きかったが、それでも壬生町管内における事故件数は二件発生し、

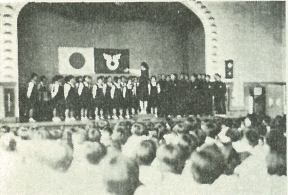
香港カゼにご用心

通称「A香港型」呼ばれ、日本では七月二十日名古屋に入港したイスマールの貨物船の乗務員から初めて検出されました。

日本に影響が現われるとすれば、この秋から冬にかけて流行するおそれがあります。

四、ウガイをよくすること

特に、乳幼児は母親から感染することが多いので、おかあさん方十分気を付けましょう。



公民館で開かれた音楽祭

本町から四校が出場

学校音楽祭

さる十月三日、中央公民館で管内の小中学校と中学校の音楽祭が行われました。

会場には、小中学校約三百名が参加して盛大に開かれました。

種目は、独唱、合唱、合奏、独奏で、このうち優秀校は、那や県音楽大会に出場します。

この日、壬生町から県大会に出場がききまり、ピアノでは羽生田小の高田佳さんと、合唱は壬生中稲葉中、稲葉小の二校が出場することになりました。

農業研究所を見学

— 婦人学級 —

稲葉地区婦人学級は、九月十二日埼玉県鴻巣市にある農林省農業技術研究所を見学しました。

参加者五十七名は、稲葉地区の農家の婦人たちが、研究所の松島省三農学博士から、米の多収穫にするにはどうしたらよいかについていろいろ指導され、婦人たちは、熱心に受講し、大変参考になりましたと喜んでいました。

